

令和4年度第14回定例会

八王子市教育委員会議事録（公開）

日	時	令和4年12月21日（水）	午前9時30分
場	所	八王子市役所 議会棟4階	第3・第4委員会室

第 1 4 回定例会議事日程

- 1 日 時 令和 4 年 1 2 月 2 1 日 (水) 午前 9 時 3 0 分
 - 2 場 所 八王子市役所 議会棟 4 階 第 3 ・ 第 4 委員会室
 - 3 会議に付すべき事件
 - 第 1 第 4 9 号議案 市立小・中学校再編基本方針について
 - 第 2 第 5 0 号議案 八王子市生涯学習センター及び同図書館の臨時休館日
について
 - 4 協議事項
 - ・市立小・中学校及び義務教育学校の令和 4 年度卒業式及び令和 5 年度入学式の対応について (教育総務課)
 - 5 報告事項
 - ・公用自動車による交通事故に係る損害賠償の和解について (学校施設課)
 - ・公用自動車による交通事故に係る損害賠償の和解について (学校施設課)
 - ・市立学校部活動中の軽自動車損傷事故に係る損害賠償の和解について (学校施設課)
 - ・令和 4 年度 (2 0 2 2 年度) 八王子「宇宙の学校」その他イベントの実施結果について (こども科学館)
-

出席者

教 育 長	安 間 英 潮
教育長職務代理者	川 島 弘 嗣
委 員	柴 田 彩 千 子
委 員	伊 東 哲
委 員	保 坂 暁 子

教育委員会事務局出席者

学 校 教 育 部 長	小 柳 悟
-------------	-------

学校教育部指導担当部長	西 山 豪 一
学校教育部学校施設整備担当部長	八 木 忠 史
教 育 総 務 課 長	渡 邊 聡
地 域 教 育 推 進 課 長	高 橋 健 司
学 校 施 設 課 長	武 井 博 英
学 校 給 食 課 長	東 郷 信 一
学 務 課 長	山 田 光
教 育 指 導 課 長	大日向 由紀子
特別支援・情報教育担当課長	鳥 越 克 彦
教 職 員 課 長	山野井 寛 之
統 括 指 導 主 事	鴨 狩 淳 一
統 括 指 導 主 事	北 川 大 樹
生涯学習スポーツ部長	平 塚 裕 之
生涯学習スポーツ部スポーツ担当部長	志 萱 龍 一 郎
生涯学習政策課長	鶴 田 徳 昭
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	谷 靖 之
学 習 支 援 課 長	松 井 洋 一
こ ども 科 学 館 長	飯 塚 由 則
図 書 館 課 長	一 杉 昇 子
教育指導課指導主事	志 村 亮 介
教育指導課指導主事	福 島 裕 子
こども科学館課長補佐兼主査	北 野 領
教育総務課課長補佐兼主査	長 井 優 治
教 育 総 務 課 主 任	池 上 光
教 育 総 務 課 主 事	寺 田 美 緒
教育総務課会計年度任用職員	宇 野 温 美

【午前9時30分開会】

安間教育長 大変お待たせをいたしました。本日の出席は5名でありますので、本日の委員会は有効に成立をいたしました。

これより令和4年度第14回定例会を開会いたします。

はじめに、本日の議事録署名委員の指名をいたします。本日の議事録署名委員は、川島弘嗣委員を指名いたします。よろしく願いいたします。

本市では、地球温暖化対策、省資源対策の一環として節電等に取り組んでおります。本定例会においても、照明の一部消灯を実施いたしておりますので、御理解いただきますよう、お願いいたします。

本定例会におきましては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、教育委員会事務局管理職の出席について、部長職及び一部の管理職に限定する対応とさせていただきますので、こちらにつきましても御理解いただきますよう、お願いいたします。

本日の議事でございますが、第49号議案及び協議事項「市立小・中学校及び義務教育学校の令和4年度卒業式及び令和5年度入学式の対応について」は未だ意思形成過程のため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項及び第8項の規定により、非公開といたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 御異議ないものと認めます。

それでは、議事を進行いたします。

安間教育長 日程第2 第50号議案 八王子市生涯学習センター及び同図書館の臨時休館日についてを議題に供します。

本案について、学習支援課から説明願います。

松井学習支援課長 それでは、八王子市生涯学習センター及び同図書館の臨時休館日について御説明いたします。

まず、生涯学習センターについてですが、点検等のメンテナンスを行う必要があることから、令和5年1月10日火曜日を臨時休館とするものです。また、生涯学習センター図書館については、毎月第一火曜日を館内整備のための臨時休館日とし

ていますが、令和5年1月3日は年始の休業期間となっているため、第二火曜日の1月10日を館内整備のための臨時休館日とすることとし、承認を求めるものです。説明は以上です。

安間教育長 只今、学習支援課からの説明は終わりました。

本案について、御質疑はございませんか。

よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、本案について御意見いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

こちらもないようでございますので、お諮りをいたします。

只今、議題となっております第50号議案については、提案のとおり決定するという事に御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 御異議ないものと認めます。

よって、第50号議案については、そのように承認することにいたしました。

安間教育長 続いて、報告事項となります。

学校施設課から3件続けて報告願います。

武井学校施設課長 それでは、私からは3件一括して説明をさせていただきたいと思っております。

こちらは地方自治法第180条第1項の規定に基づき、委任専決処分をいたしました損害賠償の和解についてでございます。

まずはじめに、大和田町一丁目地内の交通事故でございます。令和4年7月13日午前9時15分頃、本市学校教育委員が管轄工事の打合せのために高倉小学校に向かう途中、国道20号大和田町一丁目交差点手前の右折専用レーンにて、前方の車に続いて右折しようとした際、相手方車両が急停止をしたためブレーキをかけましたが間に合わず、相手方車両の後部に追突して損傷を与えたものでございます。この事故は十分車間距離を取っていなかったために発生したものであることから、相手方の車両の修理等にかかる費用436,920円を支払うことで和解いたしま

した。

次に、檜原中学校敷地内の駐車場での事故です。令和4年8月29日の月曜日午前9時頃、本市学校教育委員が檜原中学校での業務を終え、次の学校に向かうため同敷地内から出ようとした際、当該車両の駐車スペース前に駐車してあった車があったため何回か切り返して車両を出そうとしたところ、左隣に駐車をしていました同校非常勤教員の車の右側前方に接触し、損傷を与えたものでございます。この事故は、駐車中の車に損傷を与えたものであることから相手側の車両修理にかかる費用47,755円を支払うことで和解いたしました。

最後に、市立中学校部活動中の損害賠償についてでございます。令和4年8月30日、第四中学校の校庭におきまして、同校サッカー部の生徒が練習中に蹴り上げたサッカーボールが高さ10メートルの防球ネットを超えて、同校東側の道路を隔てた宅内に駐車中の相手方自動車の上部を直撃し、屋根及びバックドアに損傷を与えたものでございます。この事故は部活動中に発生したものであることから、相手方の車両の修理にかかる費用171,138円を支払うことで和解いたしました。

3件につきましては本市が加入しております保険会社から全額が補填をされるものであります。3件の事故とも相手方に身体的損傷は発生しておりませんが、多大な御迷惑をおかけしてしまいました。再発防止に向けまして、交通事故につきましては全職員に訓示を行い、安全確認のさらなる徹底を指導したところです。また部活動等の指導に当たっては、施設の状況に応じ練習場所や練習方法を考慮した指導をするよう、改めて全校に通知をしたところでございます。このたびはこのような事故を起こしまして誠に申し訳ございませんでした。

報告は以上です。

安間教育長 只今、学校施設課からの報告は終わりました。

本件について、一括して御質疑はございませんか。

よろしゅうございますか。

1点だけ補足説明してください、サッカーボールでこれだけどうして損傷するのだと。

武井学校施設課長 当該学校のフェンスにつきましては、高さが10メートルあったということでございます。10メートルの高さからサッカーボールではあるのです

けれども、屋根に直撃したこととそのまま後ろの後部のほうのバックドアに当たったということからこれだけの費用が生じたということで、こちら保険会社が認定されている金額でございます。

安間教育長　よろしゅうございますか。

それでは3件一括して報告として承らせていただきたいと思います。

安間教育長　続いて、こども科学館から報告願います。

飯塚こども科学館長　令和4年度(2022年度)八王子「宇宙の学校」その他イベントの実施結果について、担当する北野課長補佐から説明させていただきます。

北野こども科学館課長補佐兼主査　それでは、御報告させていただきます。

今回報告します「宇宙の学校」は、平成23年から活動を開始し、昨年一昨年と中止しておりましたが、本年度3年ぶりに実施することができ、10回目の開催となるものでございます。

まず、本事業についてですが、対象は小学校低学年の児童とその保護者になります。本事業は、親子の交流を基盤として進められているところも特徴の1つとなっております。宇宙や科学を対象として、こちらで用意した会場での科学工作教室スクーリングと呼んでおりますが、そちらと家庭での自由研究、この2つを行います。必ず子どものみ・親のみの活動とせず、親子が一緒に考えながら進めていくことを重視しております。例年は小学校1年生から3年生の児童を対象としておりましたが、本年度はコロナ禍であることから2年生と3年生に絞って募集をかけさせていただきました。

主催は地域団体である東京八王子プロバスクラブを中心とした八王子「宇宙の学校」実行委員会であり、スクーリングを行う講師はNPO法人KU-MAが認定した知識と経験が豊富な元教員等が担っております。また、JAXAのほか、大学等の学校と協力するとともに、特別協賛として市内企業である株式会社スリーボンドから活動資金を提供していただいているところも特徴的な事業となっております。

(3)の実施内容ですが、本年度は私立八王子学園と教育センターの2つの会場でスクーリングをそれぞれ3回開催しております。ページをおめくりいただきますと、スクーリングの内容が書かれております。第1回から第3回までのそれぞれに行わ

れている内容としましては、資料の後ろに開催風景ということで写真を添付させていただいておりますので、そちらを見ていただくと当日の様子がイメージできるかと思います。先ほどお話ししたように、対象となる児童は小学2年生、3年生になりますので、製作するものによっては工作に時間がかかってしまうものもございます。そうした場合も想定し、参加した親子の活動を支援するボランティアスタッフを必ず配置しております。ボランティアは、実施会場である私立八王子学園の中学生や、教育センター会場では創価大学の学生が支援に当たりました。毎回10名以上のボランティアスタッフが参加しており、加えて東京八王子プロバスクラブのメンバーもサポートする中で、親子の活動を手厚く支援できる体制をとっております。

実施結果ですが、2会場、定員40名で募集をしたところ、コロナ禍でありながらも応募が210組ということで、当選倍率は5.25倍と本事業の人気度がうかがえる結果となっております。また、当日の出席につきましてはコロナの感染や体調不良等により幾つかの組の欠席はあったものの、コロナ禍前の出席率と大きな違いは見られませんでした。

次のページのアンケート結果、こちらを御覧いただきますと、参加してよかったという回答が96.6%、ほとんどの親子の満足度が高いものとなっております。自由記述では、「学生さんが手伝ってくれたので毎回スムーズにできました。3回とも子どもが楽しそうに実験の様子を話していた。家庭学習用の教材、テキストなのですが、そういったものをたくさんいただき企画も楽しく取り組めた。自宅ではなかなか材料をそろえるのが難しいので、こういった企画はよい。」そのような意見がありました。

また、先ほどお話しさせていただきましたが、開催風景の写真を御覧いただき、「宇宙の学校」の雰囲気を感じ取っていただければと思います。なお、写真の最終ページにございます家庭学習レポートの写真、そちらもつけてあるのですが、これは各参加者が自分で選んで実施した研究結果のレポートということになっております。こうした家庭内での研究を提供した場所で行うだけではなく、家庭内で家族とともに行うことで家族の絆を深め、その子だけではなく家族全員が宇宙や科学に興味を持ってもらえるような仕組みとなっております。

続きまして、最後にこども科学館の閉館時間以降に大人向けの取組として実施し

ているイベント、こちらについて御報告をさせていただきます。

まず、星空コンサートになります。この事業は、令和元年度までピアノやフルートなどの生演奏でコンサートを実施していたというものなのですが、コロナ感染者数の拡大を受けて令和2年、令和3年と中止になっていたものを、本年度は生演奏ではなくプラネタリウムドーム内で映像や星空を眺めながら、CDにより音楽を聴くという手法で実施したものでございます。10月16日日曜日に実施した月と星に関わる音楽を流した回では75名、お手元の資料には数字の記入が間に合わなかったため数が記載されていないのですが、先日12月18日日曜日に実施したクリスマス特集では44名の方が、夕方からの開催にもかかわらず来館されました。

次にトワイライトプラネタリウムです。こちらは平成29年にこども科学館のリニューアルを行っているのですが、そのリニューアル時を転機として実施しているもの、これもコロナ禍で令和2年、令和3年と中止されたのですが、3年ぶりに本年度実施しているものでございます。10月から12月までの月1回のペースで開催した「はじめての星の王子さま」こちらでは3回目の最終回に88名もの多くの来館者がございました。このトワイライトプラネタリウムは毎月1回実施しておりまして、1月から3月の期間においては「ベテルギウスの最期」ということで、冬に見られる星座であるオリオン座の構成の1つであるベテルギウス、こちらを取り上げて投影する予定であります。

なお1月からは、土曜日のワクチン接種会場としての利用というのもなくなりますので、開催日はこれまで日曜日に行ってきたものを土曜日に設定し、このことにより集客増加も期待しているところでございます。

報告は以上になります。

安間教育長 只今、こども科学館からの報告は終わりました。

本件について、御質疑はございませんか。

伊東委員 丁寧な御説明ありがとうございました。「宇宙の学校」についてお伺いしたいのですが、親子の絆を強めるというのはとても良いことなのですが、例えば親戚のおじさんが連れていってくれたり、あるいは年齢の高い兄弟がいて連れていってくれるような場合、そのようなことも認めているのかどうかも教えていただけますか。

北野こども科学館課長補佐兼主査 募集の段階では親子ということで募集はしているのですけれども、運用の中で実際に親族ですとか、そういったところで一緒に活動したいということになりますと、どちらも認めるような形で運用のほうは行っております。

伊東委員 ありがとうございます。今、子どもたちの多様化が見られる中で、保護者というか親がいない子ども、そんなには多くはないのかもしれないですけれども、親子というように限定的に学びの対象を絞ってしまうというやり方で良いのかどうか、親子の絆を深めるという意味では良い取組ではあると思うのですけれども、そのように本教育を担う教育委員会の行事として若干ハードルをかけてしまうことについては、もし運用の仕方などで対応していただけるのでしたらぜひそういった方々も募集していただけたら良いと思います。

以上です。

安間教育長 ほかにございましょうか。

柴田委員 3年ぶりに実施ができたということで、何よりと思いながら御説明を伺いました。毎回人気のある講座だと思うのですけれども、今回も抽選を行って5倍以上の方たちから参加申込みがあったということですので、例えば開催日を9月から11月に限定しないでほかのところでも開催するとか、開催数を増やす、9月から11月の中でも2グループというか2クールくらい実施するとか、そのようなお考えというのはないでしょうか。

北野こども科学館課長補佐兼主査 今、次年度に向けてコロナ禍の状況というのも判断材料にはなってくるのですけれども、そのようなところを踏まえて拡大の方向で実際に実施するに当たってそれが実現可能なのかということも勘案しながら進めております。2月に推進会議を設けて、そちらで次年度の計画を決定していくような形になるのですが、その際にプロバスクラブの方を中心としていろいろ意見をいただきながら次回は拡大していこうということの中で議論を進めております。

安間教育長 ほかにございましょうか。

川島委員 ありがとうございます。私も柴田委員と同じなのですが、せっかくこれだけ人気がある講座なので増やしていただきたいというのが1つと、あと自由記入欄のところ、「コロナ禍で5年生のお兄さんが受講できなかった」というような

文言とか、「高学年もあると良いな」というようなものがありますが、この5年生で参加できなかったとなると失われたコロナ禍の2年間、マイナスのレガシーとして残るとするのは残念なので、ぜひ今まで参加できなかった高学年の子どもが参加できるようなプログラムを併せて検討していただけたら良いかと思いました。ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

北野こども科学館課長補佐兼主査 委員のおっしゃるとおりでありまして、そのようなところも含めて対象者の拡大というところも検討事項に入れるべきだと思っています。実際にこの「宇宙の学校」なのですけれども、全国的にいろんな自治体単位で行っているところなのですけれども、主体が自治体であったり民間の団体であったりするのですが、もともとこの「宇宙の学校」自体がJAXAの名誉教授の的川教授が提唱している内容になっておりまして、的川教授の「宇宙の学校」の実施する趣旨として、小学校の低学年を対象に行うというのが最初の発端の部分でありましたので、小学校低学年の1年生から3年生までを対象として進めている事業なのですが、今委員のほうからおっしゃられたようにそのような対象年齢の拡大というところも踏まえて検討していくべきかと考えております。

安間教育長 ほかにございましょうか。

それでは私から。これは教育指導課にお伺ひしたいのですが、小学校の科学教育センターに今年参加している子どもたちで、この「宇宙の学校」出身の子というのは何人中何人くらいいますか。

鴨狩統括指導主事 その人数はまだ数えてはいないのですが、今年度2回、この「宇宙の学校」の保護者が参加しないバージョンを科学教育センターで参加者約80名全員に実施をして受けていただいているというところでもありますので、基本5、6年生の中で科学教育センターに参加した子どもについては、一度はこの体験はしているというところがございます。

安間教育長 ぜひ具体的に把握してもらいたいのですよ。数年前に教育指導課にお願いをして、八王子市の理数教育体系というものを作ってもらったと思います。低学年にこの「宇宙の学校」が位置づいていて、高学年に科学教育センターがあって、さらに中学校では科学コンテストがある。そのような体系が出来上がっているはずなのだけれども、所管が違うからという理由なのかもしれないが、せっかく作った

体系がまたばらばらになっているような気がするのですよ。だからつながりをしっかりと考えてもらいたい。「それはこども科学館の仕事でしょう、こちらは小・中校長会でやります。」何ていう話ではなくて、そのための八王子市の理数教育体系だったわけですから、もう一度その趣旨に戻ってどういう形で八王子の理数教育を進めていくのかという一連の流れですから、気が抜けるとばらばらになっていってしまうので、そこはぜひ気をつけてください。いつも言っていることですがけれど「理科離れ、理科離れ」ってセンセーショナルに言うからマスコミの人たちはお好きなのだけれど、小学生というのは調査の結果でも理科は大好きなのでしょう。変な誤解を生みたくない。ただし、明確に理科離れになっているのは、就職の際に、理系の就職希望者がものすごく減っているのだというのが、これは明確な理科離れの現状だと。理科の授業自体は楽しいし、やっていることは楽しいのだけれど、それを将来の職業に結びつけるのは嫌だと、そこを何とかしていかないと八王子は人的資源をちゃんと育てて市内の企業などでも活性化させたい、そのための人材を作りたいというのはあるわけだから、そこまで長く見て、どのようにして理数系の云々に興味関心を持って、そして優れた才能を磨いて、というような人材育成していくのかという長いスパンで考えてもらいたい。改めて、数年前に作った理数体系を引っ張り出して、どのような位置づけになっていたのか、どのような意図でこうやっているのかということを経理のほうで部を越えて確認し合ってください。簡単に言ってしまうと、高学年用があればよかったという保護者の感想が出てくること自体周知されていないということになりますから。だから周知すれば良いだけの話ではなくて、どのように我が子に対して関わっていかようとしているのか、そのような見通しが保護者の方がとれるような、それを私は実質的な体系だと思っています。ぜひもう一度これを機会に、どうなのだろうということを考えてみてください。

ほかによろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　それでは、本件についても、報告として承らせていただきたいと思います。

以上で公開の審議は終わりますが、委員の方々から何かございませうか。

ないようでございます。

それでは、ここからは非公開となります。傍聴の方々、恐縮ですが御退席をお願いいたします。

【午前9時57分休憩】